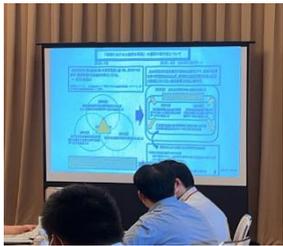


令和6年度 彩の国あんしんセーフティネット事業

担当相談員養成研修

実施日	1日目	4月17日(水)～5月31日(金)動画配信 / 4月25日(木)Zoom
	2日目	5月17日(金)
	3日目	5月31日(金)
対象	新任相談員、社協担当職員	
参加者	50名 (うち修了証発行 32名)	
講師	文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島氏 (2, 3日目)	
内容	1日目	動画配信、オンライン講義
	2日目 & 3日目	集合型研修 【講義】 文京学院大学 人間福祉学科 教授 中島氏 【実践報告】 ・第1ブロック社会貢献支援員 熊木氏 ・相談支援事業所がどうの木 三上氏 【社会貢献支援員によるミニ講義】 ・第4ブロック社会貢献支援員 出雲氏 【事例検討】 ・実際の支援ケースを想定した事例をもとにグループワークを実施
		 <p>受講の様子</p>

内 容

【1日目】

セーフティネット事業の概要について(事務局説明)の動画を視聴いただき、オンラインでは、生活困窮者自立支援制度、生活保護制度、生活福祉資金貸付制度、日常生活自立支援制度、医療・年金制度、法テラスと債務整理等について各講師に講義いただきました。

【2日目】

文京学院大学 中島氏より「近年の社会福祉の動向と生活困窮の状況について」ご講義いただきました。また、セーフティ実施施設と社会貢献支援員による実践報告を聞いての感想や、担当相談員となり不安に思うことや知りたいことなどを話し合いました。

【3日目】

文京学院大学 中島氏による「CSW の機能と役割」「初回アセスメントと課題整理・支援検討の際のポイント」についてご講義いただきました。中島氏の講義内容や、社会貢献支援員からのミニ講義をふまえ、アセスメントや支援策の検討のワークを行いました。

※※中島先生からのコメント※※

・その人の持っている力、ストレンクス(強み)を見出すことが大切。強みに着目して、支援策を検討して欲しい。

・あんしんセーフティネット事業は、本人と支援者に今後の支援を考えていく時間をくれる支援。支援の後、本人が自立できるように後押ししていくことが重要。

参加者の声

【講義を聞いて】

ポイントを捉えながら分かりやすくお話頂けてとてもわかりやすかった。8050問題は知っていたが、今や9060問題へ拡大し孤立・孤独問題が深刻化していることや、重層的支援体制整備事業の実情など、学ぶことが多く大変勉強になった。

【実践報告を聞いて】

面談を通じて、相談者の心身状態を読み取り、的確に支援していくことの大切さを学んだ。

【ミニ講義を聞いて】

支援の流れや着眼点について理解することが出来た。これから相談者と接触する際に心に余裕を持って臨めそう。

【グループワークを行って】

経験がない相談員の方々が不安に思うことは同じであり、顔を合わせなら話をする事で、自分も頑張ろうと考える機会になった。